

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日:

事業所名: 放課後等デイサービス 児童発達支援・放課後等デイサービス ぐるーす豊平

対象人数(保護者)32人 回答者数 13人 回収 40.6%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	○					
	②	職員の配置数は適切であると思いますか。	○					
	③	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境(※1)になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	○					
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	○					

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
適切な 支援の 提供	⑤	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に 応じた専門性のある支援が 受けられていると思いますか。	○				ゲームで負けて元気がなく声 をかけてくれた事など本人に 聞こえないように配慮して 教えていただいております。	
	⑥	事業所が公表している支援 プログラム(※2)は、事業所の 提供する支援内容と合ってい ると思いますか。	○					
	⑦	こどものことを十分に理解し、 こどもと保護者のニーズや課 題が客観的に分析された上で、 放課後等デイサービス計画(個 別支援計画)(※3)が作成され ていると思いますか。	○					
	⑧	放課後等デイサービス計画に は、放課後等デイサービスガイ ドラインの「放課後等デイサー ビスの提供すべき支援」の「本 人支援」、「家族支援」、「 移行支援」で示す支援内容か らこどもの支援に必要な項目 が適切に設定され、その上で、 具体的な支援内容が設定され ていると思いますか。	○					
	⑨	放課後等デイサービス計画に 沿った支援が行われていると 思いますか。	○					
	⑩	事業所の活動プログラム(※4) が固定化されないよう工夫さ れていると思いますか。	○					
	⑪	放課後児童クラブや児童館と の交流や、地域の他のこども と活動する機会がありますか。				○		当事業所では、外部刺激に敏 感なお子さんの心理的安定や、 防犯・安全管理を最優先事項 としております。そのため、 現時点では事業所主体による 外部交流イベント等はあえて 実施していません。今後は、 事業所の運営コンセプト(安 心・安全な環境の優先)につ いて、改めて保護者の皆様へ 丁寧にご説明し、ご理解を いただけるよう努めます。ま た、事業所内での行事として の交流は控えておりますが、 日常的な公園利用や買い物学 習等を通じた「自然な形での 社会参加」は継続して行っ ております。これらの活動の 様子を共有ツールや事業所 内掲示等でより詳しくお伝え し、お子様が社会とどのよう に関わっているかを可視化す ることで、安心感を持って いただけるよう取り組んでま いります。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	⑫ 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	○					
	⑬ 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	○					
	⑭ 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。		○			○	当事業所では、現在、集団形式の研修会やプログラム開催は行っていませんが、定期的な「個別面談」を家族支援の最重要事項と位置づけております。面談の場では、お子様の特性に合わせた具体的な関わり方や、ご家庭での困りごとに対する助言を行っております。これら一対一のサポートが、事業所としての「家族支援プログラム」の一環であるという点について、保護者の皆様への説明が不足していたことが今回の結果に繋がったと考えております。
	⑮ 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思えますか。	○					
	⑯ 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	○					
	⑰ 事業所の職員から共感的に支援をされていると思えますか。	○					
	⑱ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。					○	当事業所では、保護者の方々のご就労やご家庭の事情が多様であることを踏まえ、現在は一律の「保護者会」や「イベント」による拘束を設けておりません。保護者の方々にとって集団での交流が新たな負担(時間的・精神的)にならないよう配慮しつつ、送迎時や面談を通じた「個別の信頼関係」を築くことを優先しております。今後は、画一的な行事の開催は控える一方で、保護者の方々が「他の家庭の事例を知りたい」「悩みを共有したい」と思われた際に、個別に対応できる相談体制をさらに強化いたします。
	⑲ こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	○					
	⑳ こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思えますか。	○					
	㉑ 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	○					
㉒ 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思えますか。	○						

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の 対応	㉓	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	○					
	㉔	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	○					
	㉕	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思えますか。	○					
	㉖	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思えますか。	○					
満足度	㉗	こどもは安心感をもって通所していますか。	○					
	㉘	こどもは通所を楽しみにしていますか。	○					
	㉙	事業所の支援に満足していますか。	○					

※1「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がこの部屋で何をするのがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3「放課後等デイサービス計画(個別支援計画)」は、放課後等デイサービスを利用する個々のこどもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。こどもの発達の状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※5「ペアレント・トレーニング」は、保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容することを目標とします。